



近畿税理士会和歌山支部

発行

和歌山市湊通丁北1丁目1-3

TEL.426-3600 FAX.424-1474

<https://kinzei-wakayama.org>



浅間山外輪山から昇る变形太陽

北アルプス常念岳と横通岳の鞍部「常念乗越」2,460mから見た朝日。
日の出・日没時は大気の屈折により、時折太陽が変形して見えることがある。

目次

新年のご挨拶 支部長……………	2	和税会ゴルフニュース 瑞宝双光章受章……	6
新年の御挨拶 税務署長……………	3	支部新メールアドレスのご案内 支部行事風景…	7
今年の年男・年女……………	4	新入会員等紹介……………	8

新年のご挨拶



和歌山支部長
坂本 忠進

新年あけましておめでとうございます。

令和7年の新年を迎えるにあたり、支部会員の先生方に謹んで新春のお慶びを申し上げます。また、平素は支部運営に深いご理解と多大なるご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和6年は、元日の能登半島地震、翌2日には海保機と日航機の衝突事故と衝撃的な出来事から始まりました。能登半島地域に至っては9月にも豪雨災害に見舞われ、未だ復興が進んでいない状況です。政令により激甚災害に指定され、官民一体となった取り組みに期待して、一刻も早い復興を祈るばかりです。

私たち税理士が関与する小規模事業者は、中小企業と比べても売上不振の割合が高く、厳しい経営環境の中にあります。小規模事業者は販路開拓や人手不足、資金繰り等、様々な経営課題を抱えており、これらの課題に対応しながら、売上げを確保し事業を持続的に発展させていくことが重要になってきます。また、春闘の賃上げ率・最低賃金の改定率は過去最高水準にあります。一方で、人材確保の必要性や物価動向を背景に、賃上げの原資となる業績の改善が見られない中で、防衛的な賃上げを行わざるを得ない企業が増加しています。今こそ私たち税理士の支援が求められています。日々研鑽を積んで重ねた知識と経験を基にして、関与先の発展のために尽力していただきたいと思います。

支部活動では、会員が会務に参加しやすい環境づくりの一環として、6月の女性税理士交流会に引き続いて11月には若手税理士交流部会を立ち上げ、若手会員との意見交換の場では、それぞれの会員の考えや事情についても耳を傾けつつ、今後の会務参加

への要請を行いました。その他各委員会におきましても担当副支部長を中心にして、おおむね事業計画通りの業務を遂行することができました。詳しくはホームページ上にあります会員のページをご覧ください。

昨年は近畿税理士会が設立60周年を迎え『60年の歴史を誇りに 新たな一歩へ』と、10月には記念事業が開催され、新たな未来に向けた一歩を踏み出す機会となりました。今年乙巳の年、私自身が60周年!、いわゆる還暦を迎えます。残りの任期を全うし、無事に支部長を卒業出来れば、また新たな一歩を踏み出したいと思います。

最後になりましたが、会員先生方のますますのご健勝とご活躍を祈念申し上げ、年頭のご挨拶と会務の報告といたします。



新年の御挨拶



和歌山税務署長
松本 誠一

新年明けましておめでとうございます。

令和7年の年頭に当たり、謹んで新春の御挨拶を申し上げます。

近畿税理士会和歌山支部の皆様方におかれましては、円滑な税務行政の運営につきまして、深い御理解と格別の御協力を賜っておりますことを心より厚く御礼申し上げます。また、この半年間、署の重点取組項目のひとつであります租税教室開催の増加にご尽力いただくとともに、坂本支部長をはじめ支部会員の皆様の積極的な講師派遣に対しまして、重ねて御礼申し上げます。

さて、ご承知のとおり、和歌山税務署におきましては、令和5事務年度に内部事務の一元化に伴い職員数が大幅に減少する中、円滑な署務運営並びに納税者の方への適切な対応を行うため、「スマホ申告」「キャッシュレス納付」等のデジタル化をこれまで以上に推進し、「あらゆる手続きが税務署に行かずにできる社会」の実現に向けて取り組んでおります。

しかしながら、これらの取組を円滑に行うためには、我々だけでは限界がございます。皆様方と十分に意思疎通を図り、これまで培ってきた相互信頼と協調関係を更に深め、円滑な税務行政に努めてまいりますので、引き続き、御理解と御協力を賜りますようお願いいたします。

今年の干支である「乙巳」は、「努力を重ね、物事を安定させていく」といった意味合いを持つ年とされています。我々といたしましては、様々な取組を積極的に行い、納税者の皆様に着目するよう努めてまいりますので、御支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

結びに当たりまして、貴会が発足されて60周年を迎えられましたが、この1年が更なる飛躍の年となりますよう、ますますの御発展と会員の先生方の御健勝と御事業の御繁栄を心から祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。





木野 久行

私は、昭和 16 年巳年生まれ、今年で 84 歳になります。銀行員から脱サラをして税理士に登録しました。昭和 50 年に和歌山支部に入会し今年で 50 年になりますが、ゴルフは入会と同時に始めました。当時、内藤先生の肝いりでゴルフを始められた先生達が集まって、鈍愚理（どんぐり）クラブを開設しました。昭和 52 年 5 月第 1 回ゴルフコンペを根来カントリークラブで行い、私が優勝しました。今でもその時の盾を書棚に飾（かだ）っています。その後、鈍愚理会員の皆様も上達し、和税会のコンペにも参加させていただきました。ただ、私の成績はいつもブービー賞でした。



和税会の白浜カントリークラブで同じ組で周っていた勝田先生が【ホールインワン】をして皆でびっくりした記憶が鮮明です。その後、ゴルフは腰痛のため辞めて家内の妹の主人に勧められて船釣りに変更しました。私は、釣りに向いていたのか行くたびに竿頭になり、釣り新聞によく掲載してもらいました。また、家内に誘われカラオケの練習に行き始め、発表会にも参加しました。しかしカラオケもコロナの影響で足が遠ざかっています。実は 70 歳になると同時に難病のネフローゼになり、今も月に 2 回和医大に診療に行っています。腎臓の働きが悪くタンパクが尿に出る病気です。治療にはステロイドが使用される為、感染症になりやすく人混みを避ける様に言われて、確定申告の相談会や 36 時間研修会にも参加できない状態です。

そろそろ廃業をしたいと思うのですが、神戸で心理カウンセリングをしている長女から「仕事をやめて何もしないと認知症になってしまうかもしれないよ」と言われ、今後、もう少しやれるところまで頑張っていこうと思っています。

皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。



岡野 良平

八白土星・巳年生まれの特徴に「好き嫌いがはっきりしていて、興味があることはとことん追求する」というのがあるようです（他にも「蛇のように辛抱強い≒しつこい性格」というのもあるようですが・・・）。

私は典型的そのタイプで、学生時代から始めたフルコンタクト空手では支部リーダーになり、大型バイクの免許を取れば北海道の離島から屋久島まで走りまわり（ついでに山にも登り）、バンド活動（ギター担当）ではジャンルの異なる 5 つのバンドを掛け持ちし現在もほぼ毎月ライブハウス等にも出演しています。



そんな感じで趣味生活をガッツリと満喫している私ですが、それらをほぼ封印している期間がありました。税理士試験受験時代です。

大学卒業後、証券会社に就職しバブル最盛期を味わい始めた途端、税理士であった父を亡くしました。3 年ほど証券マンとしてキャリアを積んで、その後どうするかはその時考えようなんて思っていたのに、いきなりの路線変更。1 年で退職し受験生活突入です。

興味のあるなしに関わらずとことん追求せざるを得ない状況に追い詰められたこともあり、なんとか簿財所法相を 3 年でクリアすることができました。

そして 27 歳で税理士登録し、気がつけば今年還暦。

会務にも従事させていただきましたが、今年 6 月開催予定の定期総会で本会理事も退任し、それでひと区切り。

のんびりとまた興味のあることをとことん追求する 60 代にしようと思っています。



毎日を大事に楽しく



松本 哲也

新年明けましておめでとうございます。

私は昭和 52 年 3 月 8 日生まれです。確定申告真っ只中のため、この仕事を始めてからは自分の誕生日は意識する事なく通り過ぎていましたが、今回の年男の原稿執筆で少し意識することができそうです。

今年で 48 回目の誕生日、今まで何気なく過ごしてきた日常は変わらず続いていくものではなく「時間は有限」だと感じ始め、毎日を大事に楽しく過ごしていかないといけないなあと思うようになってきました。

例えば、小さい事だと、「旬のものを楽しむ」といった事で、今まで食べ物にあまり頓着がなかったのですが、最近、「今はこの果物やお魚が旬なので食べよう。」と思うようになり、以前より日々の食事を楽しむようになってきました。

また、大きい事だと、これはこれからやりたいことなのですが、海外旅行に行きたいと思っています。

行きたい場所はスペインバルセロナです。

バルセロナにある世界遺産サグラダファミリアや、近くにあるカサ・ミラ、グレル公園などのガウディ建築を見に行きたいです。

もちろん、本場のスペインバルでお酒も楽しみたいです。

円安で海外旅行は敷居が高くなってしまったのですが、しっかり働いて休みを作って、実現できたらと思います。



巳年を迎えて



宮本 十至子

2025 年は巳年である。巳年は、再生と誕生を意味する年、新しい時代が始まる起点となる年などといわれている。2024 年は元旦から震災で、多くの被害がでた。いまだ復興が進まず、多くの人々が不自由な環境にいると思うと心が痛む。今年は、再生復興が進み、以前より、良い環境になることを祈る。

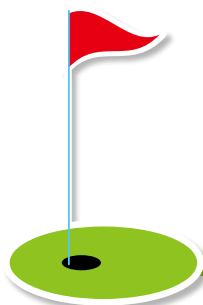
新年を迎えるにあたり、毎年年末に、手帳を眺めて一年を振り返ることにしている。さまざまところでデジタル化が進み、スケジュールさえスマホのアプリで管理する人が多いと聞く。アナログ派の私は、小さな手帳に相変わらず書き込みを続けている。長年使っていた手帳カバーがボロボロになり、数年前から買い換えたいと探していたところ、ようやく気に入った手帳カバーに出会い、新年から使い始めることにした。

手帳の使い方は、シールを貼ったり、予定を書き込んだりと、人それぞれである。「ほぼ日手帳」をヒントに、数年前から続けていることがある。手帳に「MY100」というページを設け、やりたいこと、訪問したい場所、チャレンジしたいことなどをリストアップし、完了、達成できれば、チェックマークを入れている。実際には、私のリストは 50 項目ほどで、そのうちチェックマークは 20 ほど、達成率は 50%にも満たない。それでも、少しでもできたことがあれば嬉しく、毎年続ける励みになる。2024 年のリストには、ドイツ留学で中断していた「教養ゼミナール」という大学授業の復活を入れている。それは、税務署と近畿税理士会租税教育推進部の協力の下、少人数教養科目で租税教育を実践するものであり、2024 年は「社会課題を税の観点から考える」というテーマで、学生に税の課題解決に向けたプレゼンテーションに取り組んでもらった。新しい授業内容で手探りであったが、参加した学生たちの取り組みは意欲的で、チェックマークを入れることができた。

新たな挑戦には勇気が必要で、なかなか一歩を踏み出すのは難しいが、日々の生活の中で、一つでもできることが増えればと思っている。毎年、何ができるようになるのか、脱皮した自分と向き合えるのは楽しみでもある。

今年は、巳年。希望に満ちた変化の年としたいものである。

和税会ゴルフニュース



2024年12月7日(土)

場所 国木原ゴルフ倶楽部

参加者 24名

入賞者

優勝	大住 文夫	(ネット 71.6)
準優勝	中 慎之介	(ネット 72.8)
3 位	岩見 文章	(ネット 74.4)

次回開催予定

第21回 和税会ゴルフコンペ 2025年4月頃

次回幹事 大住 文夫、森脇 大介



瑞宝双光章受章

瑞宝双光章・略綬(左)

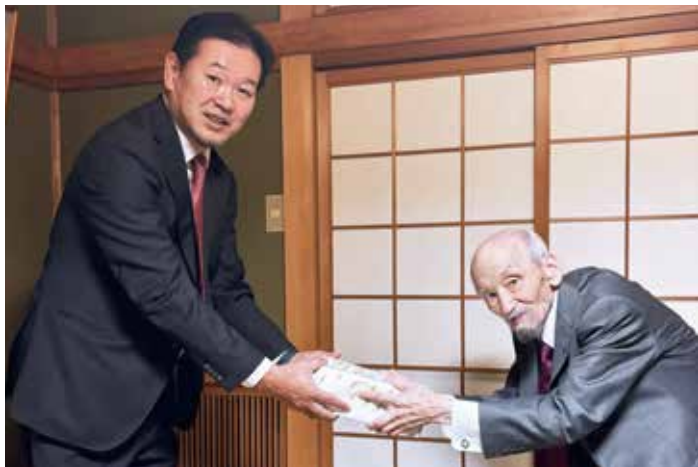


日本の勲章の一つで、瑞宝章 6 つのなかで 5 番目に位置する。2002 年 (平成 14) 8 月の閣議決定「栄典制度の改革について」により、それまでの勲五等瑞宝章から名称が変更された。翌 2003 年 5 月の閣議決定「勲章の授与

基準」によれば、公共的な職務の複雑度、困難度、責任の程度などを評価し、職務をはたし成績をあげた人に対して、6 番目の瑞宝単光章以上を授与するとなっている。受章者には保護司や小・中学校長などが多い。伝達は所管大臣が行うが、総務省および厚生労働省関係は都道府県知事が行う。



中嶋 滋介 先生



● **和歌山支部の新メールアドレス運用開始のご案内** ●

和歌山支部では独自のドメインよりメールアドレスを取得し、次のとおり運用を開始いたします。運用開始後は、迷惑メールに分類される等、トラブルも想定されますので、ご注意ください。

旧メールアドレス：
wazei@kinzei.or.jp (廃止)



新メールアドレス：
wazei@kinzei-wakayama.org (新設)

新メールアドレス運用開始日：令和7年1月1日

支 部 行 事 風 景



令和6年10月11日(金)
和歌山大学経済学部租税法実務講座
(上野隆也先生)



令和6年10月3日(木) 支部親睦旅行



令和6年12月13日(金) 年末意見交換会
場所：ホテルグランヴィア和歌山

新入会員等紹介 (敬称略)

入 会

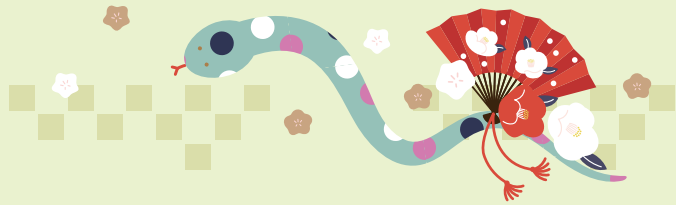


ミナカタ マサユキ
南方 雅行
令和6年10月23日
和歌山市三葛822番地

陽太税理士法人和歌山オフィス
令和6年10月15日
和歌山市黒田94番地24



シラハマ ユウキ
白濱 祐季
令和6年10月23日
和歌山市
東釘貫丁2丁目47番地4



転 出

亀山 憲耶 (東支部へ)
令和6年8月8日

中 慎之介 (湯浅支部へ)
令和6年11月8日

楠山 昭夫 (御坊支部へ)
令和6年11月13日

会 員 数

令和6年12月15日現在 254名(社)

編 集 後 記

新年明けましておめでとうございます。五十五万石第59号の発行にあたりご寄稿いただきました会員の皆様には心から感謝申し上げます。

さて、昨年は地元和歌山でも国政選挙に揺れました。岸田内閣から石破内閣に移行し、日本経済のボトルネックとされてきた103万円の壁もついにルール変更に向かって大きく舵が切られました。そして、アメリカではトランプ大統領が大勝で復活し世界に関税の大号令を発し自国最優先の政治経済へ大国が動き始めました。選挙といえば話題になった兵庫県知事選でSNS旋風が吹き、まさかの再選劇が実現しマスコミVS大衆SNSといった構図も注目され時代の移り変わりを感じずにはいられません。

海の向こうでは大谷選手がメジャーリーグ連続MVPと歴史的な偉業をあげ、イチローさんも大リーグ野球殿堂

入り指名を受けるなど、野球を愛する私たち日本人にとって「才能×努力」で世界トップになることも夢ではないんだと自身の胸を熱くいたしました。

ところで、今、和歌山県では将来ビジョンである長期総合計画が作成中ですが、そこでの最大の課題は人口減少への備えです。和歌山で働く外国人材は現在数千人いますがもっと増やしていかないと地域経済やコミュニティ(自治会、お祭り等)は立ち行かなくなってしまうかもしれません。税理士事務所にあっても外国人材の採用は着実に進んでいくことでしょう。

新年は巳年、脱皮を繰り返して成長し大きく変わっていく年です。会員皆様が新しい時代に向かって進化され益々発展されますことを心から祈念いたします。

広報委員会 水城・松本